

# 加工食品を増産 首都圏向け拡販

## 手作りコンニャクや乾燥野菜

農業生産法人のたべたがり(長岡市、小林薫社長)は、乾燥野菜などの加工食品を首都圏向けに販売する。加工用に空き工場を改装して生産能力を大幅に増強。供給能力や品質管理の体制を整っていることを販売先に示したうえで、販路開拓につなげる。同社は事務用品などを取り扱うコバックス(同)の関連会社で、野菜生産だけでなく加工品にも力を入れて付加価値を高める。

## たべたがり、工場を改装



手作りが売り物の乾燥野菜(長岡市の原信美沢店)

増産のため、2階建て延べ床面積780平方メートルの元縫製工場を改装中。現在、既に利用できる2階の一部を使って加工品の生産をしているが、4月からは作業場を大幅に増やす。加工食品の品質保持のため、ごみなどの侵入を防ぐエアシャワー

や、異物探知用のX線検査機なども導入。生産した農産物の倉庫としても利用できるようにする。投資額は約6000万円の一部に国の補助を受ける。同社の加工品は手作りのコンニャクや、大根などをを使った乾燥野菜漬物などで、現在、県内のスーパー4店舗や米穀店などへ販売している。工場増強に伴い、人員を増やせば生産能力を10倍に高められるため、今後は首都圏の市場を開拓する。生産設備を視察したうえで、取引を決める小

# 国産材比率3割目標

## コメリ スギ合板、950店で展開

ホームセンターのコメリは国産スギを100%

原材料に使った合板を本格販売する。写真。これまでに一部の大型店で試験販売してきたが、今後は

将来は国産材比率を30%に高める。

昨年夏から順次、大型店「パワー」などで国

合板は住宅の壁や床、屋根の下地などに使う資材。丸太から切り出した板を接着剤で重ねて製造する。これまではコスト面から海外からの輸入材の比率が高かった。国産材の利用を増やすことで、林業活性化にも

つなげる。林業の現場では間伐などの森林整備が進まないといった課題がある。伐採した木材の販路が広がれば、森林の整備にもつながり、コメリが地盤とする農山村の活性化にも寄与できるとみられる。

貨物運送業の富士運輸(奈良市)は長岡市にある新潟支店を、同市内の中之島流通団地に移設する。倉庫を持つ自社施設を建て、トラックも増やし新潟県内での集荷を強化するのが狙い。このほど長岡地域土地開発公社と売買契約を締結し、7月から営業を始める。購入した用地は面積4

売店も多く、事前に設備を整える必要もあった。コバックスは5年以上前からグループで農業に参入、現在は農家から借りるなどして約1畝を耕作。コンニャク芋や大根、ニンジン、トウガラシなどの野菜を栽培している。収穫から加工まで時

## 塩バニラで夏向き風味



亀田製菓は同社の主力商品「ハッピーターン」の塩バニラ風味を写真Ⅱを発売する。4月15日から2カ月間の期間限定。初夏をイメージした青色のパッケージと、まろやかな味で夏向きに仕上げた。価格はオープンだが、

亀田製菓

## ハッピーターン、期間限定

1袋100グラム前後となす春から夏に向けて見た目も爽やかなサインにした。ハッピーターンにこれまで投入する味を再開して味を再開して味にかけて米菓減るため、もであるあまやかした。パウダラを組み合わせた「アイス」として需要を取り込

# 新潟支店の集荷強化 富士運輸、流通団地に移設

500平方メートルで分譲価格は6700万円。建設費のトラックを30台程度にする建屋の詳細は未定だが、これまでの支店には強化する。中之島流通団地は20

業務に役立てる。現在20台弱のトラックを30台程度に増やし、輸送能力も強化する。中之島流通団地は20

間をかけないようするため、工場は農地から15分以内の場所を探した。今年からキュウリの栽培も始め、同様に加工販売する計画。ハウス栽培も活用し1年を通して商品を提供できるようにする。将来はみそ汁やおにぎりの具なども作り、品

そろえを増やす考え。たべたがりには北陸農政局から2012年度、生産から加工販売まで手掛け付加価値を高める農業の6次産業化の事業認定を受けている。現在1000万円程度の売上高を5年後に4800万円にするのが目標だ。

北陸新  
列車愛

2014

新幹線延伸

上越市など

幹線まちづ

広域連携会

愛称の募集

越を県内各

の玄関口だ

地域にちな

えてもらい

らJR側に

だ。募集期

まで。